【別紙】

2011 年 4 月 21 日
株式会社三菱総合研究所

節電に関するアンケート調査結果概要

1.　アンケート実施要領

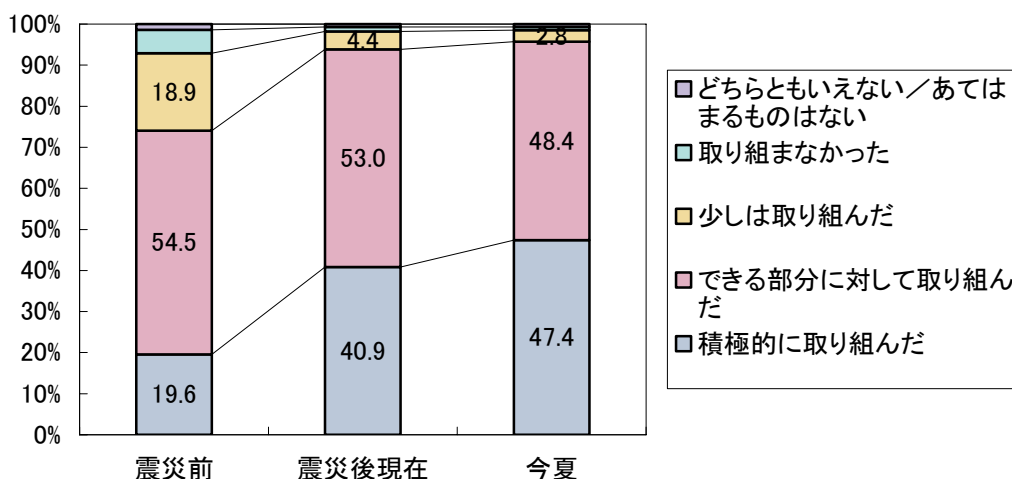
手法	インターネットアンケート
対象者	スクリーニング調査により抽出された、昨年夏から引っ越しをしていない東京電力管内在住の 2,060 世帯（茨城県及び千葉県の一部を除く）
調査時期	2011 年 4 月 13 日

2.　主な調査結果

2.1.　節電に対する考え方

(1)　時系列の比較

節電に対する考え方について、震災前の日常、震災後の現在及び今年の夏という３断面で比較すると、震災前後で大きな変化が見られる。今年の夏に向けては今以上に節電に取り組む考えとなっている。

図 1　節電に対する考え方の推移（凡例は震災前時点の設問）

(2) 計画停電地域及び経験による比較

計画停電対象・対象外の比較では、震災後現在及び今年の夏の節電に対する考え方に大きな違いはなかったが、計画停電の経験・未経験を比較すると、節電に対する積極性に違いが見られた。

図 2 計画停電対象地域と節電意識の関係(凡例は震災後現在の設問)(n=2,041)

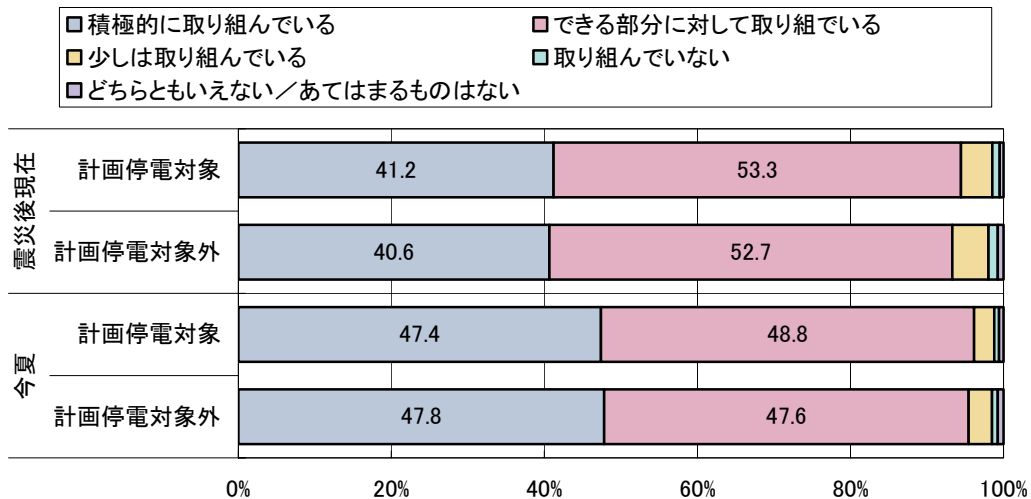
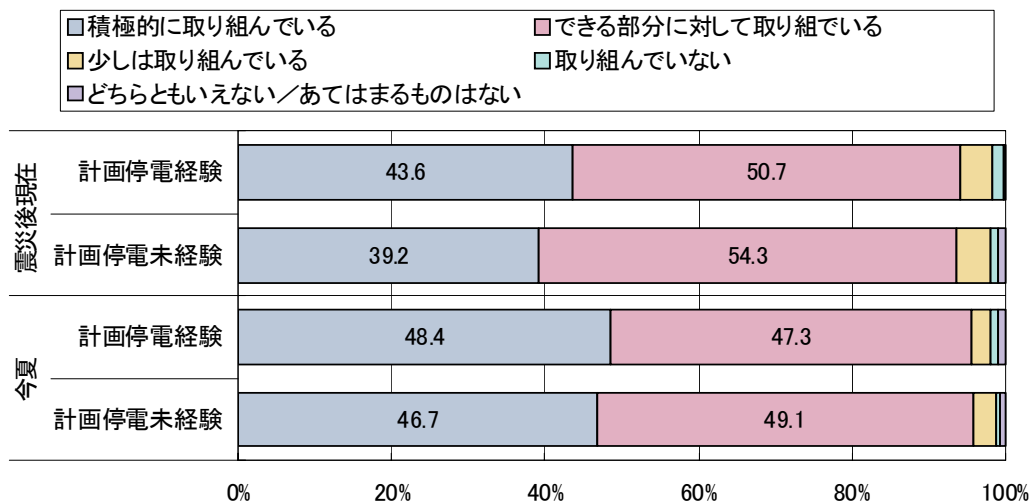
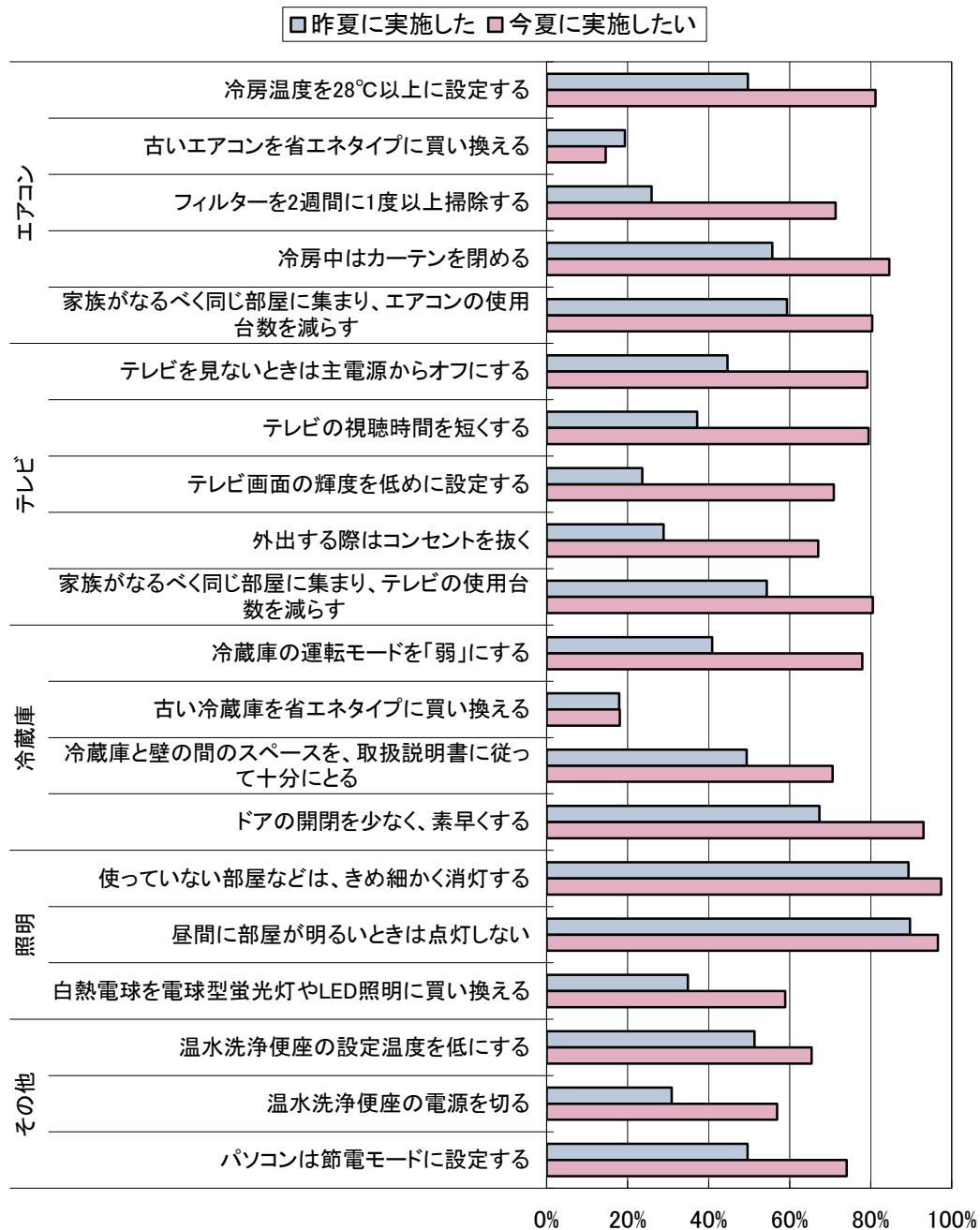



図 3 計画停電経験と節電意識の関係(凡例は震災後現在の設問)

2.2. 節電に関する取組について

(1) 昨夏の実施状況と今夏の実施見込比較

節電に関する取組について、昨夏の実施状況と今夏の実施見込を比較すると、ほとんどの取組で今夏の見込が高い結果となった。

図 4 節電取組に関する昨夏実施実績と今夏実施見込み

(2) 今夏の節電ポテンシャル

昨夏は実施可能ながら実施していなかったが今夏は実施したいと回答した件数の比率は以下のとおり。これらが前年度比で見た今夏の節電ポテンシャルのベースと考えられる。

図 5 節電取組に関する今夏のポテンシャル(調査対象全世帯平均)

参考：家庭の削減ポテンシャルの推計

以　上